

東京大学宇宙線研究所共同利用研究公募要領

1. 公募目的

広い意味での宇宙線の観測・研究ならびにそれに関連した研究を当研究所と共同して行う。

2. 公募事項

以下の事項について共同利用研究課題の公募を行います。

(A) 当研究所の共同利用施設、設備・装置の利用を必要とする広い意味での宇宙線の研究。

当研究所には乗鞍観測所、明野観測所、神岡宇宙素粒子研究施設、宇宙ニュートリノ観測情報融合センター等の共同利用施設と柏微弱放射能測定設備及びエマルジョン実験用設備等各研究部門に所属した共同利用設備・装置があります。また、本研究所大型計算機システムは、各研究部門を通して共同利用されます。

(B) 下記の研究項目（a～f）のいずれかに該当し当研究所と協力して行う素粒子または宇宙物理に関する研究。

「研究項目」

a 地下または深海で行う宇宙線研究

b 飛翔体、高山または地上等で行う広い意味での高エネルギー宇宙線の研究

c 高エネルギー宇宙ガンマ線源の探索・観測を主な目的とした研究

d 化学組成、同位体測定等による宇宙線あるいは宇宙物質の起源に関する研究

e 広い意味での宇宙線の研究に有効な観測手段、装置等の開発的研究

f 広い意味での宇宙線の研究で将来発展が期待されるテーマの理論的または萌芽的研究

(C) 研究会

広い意味での宇宙線の研究で興味深い特定のテーマについて、全国の研究者が1～3日間程度本研究所で集中的に行う研究会。

※国内旅費は宇宙線研究所及びその研究施設と観測施設への旅費のみ、海外旅費は宇宙線研究所の海外観測拠点への旅費のみに限ります。

3. 応募資格

国立大学法人、公、私立大学及び国、公立研究機関の教員、研究者等。ただし、代表者は常勤者に限る。また、学部学生は、研究補助者としてのみ参加できます。

4. 応募方法

所定の共同利用研究申請書（様式1）（宇宙線研究所ホームページ<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/info/koubo/h23> に掲載）に必要事項を記入のうえ、WORD形式（またはPDF形式）の電子ファイル（押印不要）を電子メールに添付して提出し、かつ押印された申請書の原紙を郵送などにより提出すること。

5. 応募期限

電子ファイルの提出： 平成23年1月11日（火） 17：00 厳守

押印された原紙の提出： 平成23年1月28日（金） 17：00 厳守

6. 応募書類提出及び問い合わせ先

東京大学宇宙線研究所予算・決算係

〒277-8582 千葉県柏市柏の葉5-1-5 電話（04）7136-3188

電子メールアドレス：kyodo-riyo@icrr.u-tokyo.ac.jp

7. 審査

研究課題の採否、所要経費の査定等は、提出された電子ファイルの内容に基づいて共同利用研究課題採択委員会において行い、運営委員会において決定する。

8. 採否の判定

4月下旬頃

9. 研究成果報告書

研究代表者は、当該年度終了後速やかに、採択後通知される研究成果報告書を電子ファイルで提出すること。研究成果報告書はそのまま宇宙線研究所ホームページに公表されるので簡潔明瞭に記載すること。

10. 安全衛生教育等

参加研究者及び研究補助者は、東京大学の行う安全衛生教育講習を必ず受講してください。（ただし、理論、計算機利用、研究会は除く。）また、参加研究者及び研究補助者の方で学生及び所属機関がない方は、「学生教育研究災害傷害保険」又は同等以上の傷害保険に必ず加入してください。

1.1. その他

- ① 今回の応募に関連した研究目的で他に（例えば、科研費、民間財団補助金等）要求している場合はその旨明示すること。
- ② 応募書類の提出にあたっては、各研究者の所属機関長の承諾を得ておくこと。
- ③ 電子ファイルは、なるべくWORD形式での提出にご協力をお願いします。

共同利用研究申請書等記入の留意事項

0. 注意事項 : 必ず最新の申請書（様式1）を使用してください。
1. 公募事項 : 申請書右上欄に公募要領に基づく公募事項（A, B, C）の該当するものに○をしてください。複数選択しても構いません（特に研究会主体の申請の場合）。
2. 共同研究部門・センター及び施設名等 : 申請書左上欄は、下記参考の番号・記号を必ず記入してください。
例：スーパー神岡利用の場合は 1（ア）
明野観測所施設利用の場合は 2（ア）
理論研究の場合は 3（イ）
3. 研究課題 : 和文と英文両方の研究課題を必ず記入してください。
4. 参加研究者及び研究補助者 : 参加研究者及び研究補助者は全員の氏名を記入してください。（原則として追加は認めません。）
研究補助者とは、学部学生を指し、旅費を支給することはできません。
スペースが不足する場合には必要なページ数分の（様式2）に記入をしてください。新規で施設利用の申請をする場合は、宇宙線研究所内の参加研究者を入れてください。
所属や学年については、新年度（平成23年4月1日現在）で記入してください。
参加研究者と研究補助者の合計の人数を記入してください。
参加研究機関の数には宇宙線研究所を含めないでください。
5. 申請書の「その他」欄 : 研究代表者として複数の共同利用研究申込をするときは、申請書の「その他」の欄に研究課題名及び優先順位を記入してください。
6. 共同研究承諾書 : 共同研究承諾書については、参加研究者用（様式3）がありますので、必要事項を記入のうえ、必ず研究代表者が保管しておいてください。

7. 平成23年度申請における特記事項

オーストラリア・ウーメラにおける γ 線観測共同利用は、観測装置の劣化等に対応するため、観測時間や観測装置が従来に比べ制限される可能性があることを御了解ください。

乗鞍観測所は、冬期間の降雪に伴う要因により観測装置設置・運用のための人的支援が可能となる期間が限られます。このため研究計画立案に際して、必要な場合は乗鞍観測所長に御相談ください。

エマルション現像設備は限定的な運用となり、平成23年度の共同利用を最後に終了する予定です。このため当該設備を利用した共同利用計画立案に際しては、高エネルギー宇宙線研究部門主任と御相談ください。

参 考

各研究申請は以下のように研究部門・センター・施設に割り当てられておりますが、申請書は該当する研究部門主任あるいはセンター長に提出されます。関連センター・施設等が明記されている場合には、部門主任から施設長等に連絡します。

1. 宇宙ニュートリノ研究部門
 - （ア） スーパー神岡利用（主任）
 - （イ） 神岡地下施設利用（主任および神岡施設長）
 - （ウ） 地下ニュートリノ実験、地下実験関連（主任および神岡施設長）
2. 高エネルギー宇宙線研究部門
 - （ア） 明野観測所施設利用（主任および明野観測所長）

- (イ) 乗鞍観測所施設利用 (主任および乗鞍観測所長)
 - (ウ) エマルジョン現像施設利用 (主任)
 - (エ) ガンマ線、最高エネルギー宇宙線、超高エネルギー宇宙線、高エネルギー天体 (主任)
3. 宇宙基礎物理学研究部門
- (ア) 重力波関連 (主任および神岡施設を利用する場合は神岡施設長)
 - (イ) 観測的宇宙論、理論 (主任)
4. 宇宙ニュートリノ観測情報融合センター
- (ア) 一次線、柏地下施設利用 (センター長)
 - (イ) 計算機利用 (センター長および計算機委員会)
 - (ウ) 宇宙線将来計画研究会 (センター長および所長)

(連絡先)

部 門 名 等	氏 名	電話番号	メールアドレス(※)
宇宙ニュートリノ研究部門主任	中 畑 雅 行	0578-85-9603	nakahata@
高エネルギー宇宙線研究部門主任	寺 澤 敏 夫	04-7136-5173	terasawa@
宇宙基礎物理学研究部門主任	黒 田 和 明	04-7136-5114	kuroda@
宇宙ニュートリノ観測情報融合センター長	梶 田 隆 章	04-7136-3100	kajita@
神岡宇宙素粒子研究施設長	鈴 木 洋 一 郎	0578-85-9601	suzuki@
明野観測所長	福 島 正 己	04-7136-3176	fukushim@
乗鞍観測所長	瀧 田 正 人	04-7136-5128	takita@

※メールアドレスは@のあとに icrr. u-tokyo. ac. jp をつけてください